



## 2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム

上場取引所 東

コード番号 3814 URL <https://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員IR・広報室室長 (氏名) 菊本 健司

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	406	19.3	17		2		1	
2020年9月期第1四半期	340	11.3	105		115		78	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	0.61	
2020年9月期第1四半期	31.83	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第1四半期	2,144	41	1.9	16.73
2020年9月期	2,183	42	2.0	17.33

(参考)自己資本 2021年9月期第1四半期 41百万円 2020年9月期 42百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		0.00	0.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,000	47.1	15		10		7		2.84
通期	2,500	93.6	320		300		258		104.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	2,513,800 株	2020年9月期	2,513,800 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	50,300 株	2020年9月期	50,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	2,463,500 株	2020年9月期1Q	2,463,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、GoToキャンペーンなどの政策面での後押しもありましたが、第二波コロナ渦の影響から先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食市場におきましては、第二波コロナ渦の影響を年末の忘年会にかけて大きく打撃をうけており、当社の顧客先である外食企業は、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、創業時より一貫し、外食企業を中心とした顧客に対し、利益追求のための食材ロス削減を実現する「飲食店経営管理システム(R)」、人件費の最適化や生産性を高めるための勤怠集計管理システム「Timely」を主力に「食材費」・「人件費」の二大原価の透明化を掲げたシステムをASP/パッケージシステムで提供するとともに、業界に特化したPOSシステム、オーダーリングシステム、周辺サービス等を通してトータルソリューションシステムを提供しております。

当第1四半期累計期間は、当社主要顧客が例年通り年末年始繁忙期によるシステム投資控えである期間であるとともに、第二波コロナ渦の影響により厳しい状況下ではあるものの、当初から予定していた納品がほぼ順調に推移したことにより、売上高406,231千円(前年同四半期比19.3%増)、営業利益17,811千円(前年同四半期は営業損失105,668千円)、経常利益2,565千円(前年同四半期は経常損失115,385千円)、四半期純損失1,494千円(前年同四半期は四半期純損失78,417千円)と増収増益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

## (ASPサービス事業)

当社は、顧客である外食企業に対し、ASPサービス事業を核としてASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。当事業におきましては、食材の自動発注システムによる効率化や各システムサービスによる自動化の要望から、売上高は391,263千円(前年同四半期比22.2%増)となり、セグメント利益は20,766千円(前年同四半期はセグメント損失84,639千円)となりました。

## ① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規計上及び既存顧客へのサービス拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売を行った結果、当事業領域の月額サービスは、コロナ渦の影響による月額の値引きを受けたことにより、売上高は204,998千円(前年同四半期比10.3%減)となりました。

なお、月額サービス料は、3ヶ月累計で188,572千円(前年同四半期比16.1%減)となりました。

## ② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムについて、当初から予定していた納品がほぼ順調に推移した結果、売上高は105,802千円(前年同四半期比54.7%増)となりました。

## ③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、提携先製品の販売、機器修理などのインテグレーション、サプライ製品などの販売を行った結果、ソフトウェア製品であるASP/パッケージシステムの販売の増加とともに、売上高は10,878千円(前年同四半期比53.4%減)となりました。

## (ホテル関連事業)

当社は、ASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業のトータルシステムを実施運用するためにナチュラルグリーンパークホテルの管理運営及びレストラン・カフェの運営を行っております。ナチュラルグリーンパークホテルにおいて、自社製品/サービスの実証実験店を兼ね、管理運営しており、自社製品のすべてを同ホテル内に導入稼働し、運営を実践しております。当事業におきましては、コロナ渦の影響から、売上高は24,551千円(前年同四半期比18.9%減)となり、セグメント損失は2,954千円(前年同四半期はセグメント損失21,028千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、2,144,194千円となり、前事業年度末に比べ38,928千円減少いたしました。これは主に売掛金34,188千円、現金及び預金21,563千円などの増加の一方、短期貸付金48,600千円、未収入金54,517千円などの減少によるものであります。

負債合計は2,102,979千円となり、前事業年度末に比べ37,444千円減少いたしました。これは主に買掛金19,368千円の増加の一方、長期借入金38,805千円、未払金26,843千円の減少などによるものであります。

純資産は41,214千円となり、前事業年度末に比べ1,483千円減少いたしました。これは主に四半期純損失1,494千円の計上に伴う利益剰余金1,494千円の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は引き続き、従来からのASPサービス/パッケージシステム「飲食店経営管理システム(R)」、「自動発注システム」を核とした食材ロス/コスト削減サービス提供やエネルギーコスト削減事業に力を注いでいくとともに、2020年6月に特許を取得した外食産業用のセミセルフレジ「セルフショット(R)」及び2020年11月より販売開始する紫外線光照射器を搭載した「除菌AIロボット」を順次製品投入することにより、外食市場の新型コロナウイルスの感染防止対策ニーズに対応してまいります。

2021年9月期の業績予想につきましては、2020年11月13日付の「2020年9月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	316,156	337,720
売掛金	66,016	100,204
商品	322,606	319,433
貯蔵品	18,196	17,624
前渡金	61,115	83,115
前払費用	21,544	21,851
短期貸付金	78,600	30,000
未収入金	58,488	3,970
未収還付法人税等	109,614	109,614
未収消費税等	28,619	-
その他	10,709	12,652
貸倒引当金	△36,403	△14,157
流動資産合計	1,055,264	1,022,029
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	345,247	340,603
構築物(純額)	13,814	13,427
工具、器具及び備品(純額)	91,035	80,149
土地	130,838	130,838
リース資産(純額)	51,924	46,479
建設仮勘定	395	395
有形固定資産合計	633,255	611,893
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	170,136	151,108
ソフトウェア仮勘定	122,503	156,540
電話加入権	2,445	2,445
特許権	393	370
無形固定資産合計	295,478	310,465
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	5,565	5,580
関係会社株式	93	93
出資金	10	10
長期前払費用	139,313	138,778
敷金及び保証金	22,438	22,438
長期未収入金	119,066	160,889
その他	26,000	27,500
貸倒引当金	△119,066	△160,889
投資その他の資産合計	193,420	194,401
固定資産合計	1,122,155	1,116,759
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	5,702	5,404
繰延資産合計	5,702	5,404
資産合計	2,183,122	2,144,194

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,697	49,066
短期借入金	650,000	650,000
1年内償還予定の社債	30,500	41,000
1年内返済予定の長期借入金	144,667	150,223
リース債務	23,725	22,041
未払金	51,192	24,349
未払費用	10,832	8,594
未払法人税等	3,688	7,017
未払消費税等	-	11,070
預り金	10,621	15,566
前受金	139,855	133,929
流動負債合計	1,094,781	1,112,858
固定負債		
社債	168,500	158,000
長期借入金	805,400	766,594
リース債務	43,055	38,139
退職給付引当金	28,687	25,181
資産除去債務	-	2,200
その他	-	4
固定負債合計	1,045,642	990,120
負債合計	2,140,423	2,102,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	327,723	327,723
利益剰余金	△785,057	△786,551
自己株式	△37,840	△37,840
株主資本合計	42,687	41,193
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10	21
評価・換算差額等合計	10	21
純資産合計	42,698	41,214
負債純資産合計	2,183,122	2,144,194

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	340,481	406,231
売上原価	243,825	217,760
売上総利益	96,656	188,471
販売費及び一般管理費	202,324	170,659
営業利益又は営業損失(△)	△105,668	17,811
営業外収益		
助成金収入	—	7,371
その他	72	381
営業外収益合計	72	7,752
営業外費用		
支払利息	2,453	3,867
支払保証料	96	144
支払補償費	6,389	—
支払手数料	600	151
貸倒引当金繰入額	—	18,537
その他	249	298
営業外費用合計	9,789	22,999
経常利益又は経常損失(△)	△115,385	2,565
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△115,385	2,565
法人税、住民税及び事業税	482	4,059
法人税等調整額	△37,451	—
法人税等合計	△36,968	4,059
四半期純損失(△)	△78,417	△1,494

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	A S P サービス事業	ホテル関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	320,269	20,212	340,481	—	340,481
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	10,076	10,076	△10,076	—
計	320,269	30,288	350,558	△10,076	340,481
セグメント利益又は損失 (△)	△84,639	△21,028	△105,668	—	△105,668

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第1四半期累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	A S P サービス事業	ホテル関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	391,263	14,968	406,231	—	406,231
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	9,583	9,583	△9,583	—
計	391,263	24,551	415,814	△9,583	406,231
セグメント利益又は損失 (△)	20,766	△2,954	17,811	—	17,811

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。